

## 拠点センター紹介(西原町SC)

西原町シルバー人材センターは、会員の就業機会の拡大・確保はもとより、地域貢献を柱に企画提案方式による事業「緑のリサイクル事業」を導入し、従来、廃棄処理されていた草木類を一般家庭や公共施設・会員の就業先から回収、堆肥類の製造・販売といった再資源化・再利用も好調に展開しています。また堆肥類は「花いっぱい運動」の一環として、町内公立学校、公共施設、自治会等へも一部無償で提供するなど、地域への定着度もセンターの存在を牽引する事業と位置づけています。

平成26年度には、再資源化の領域を生ごみに着目し、地域ニーズ対応事業による「エコ・かえるくん事業」を立ち上げ、液肥の製造・販売といった独自事業に取り組んでいます。

更には、行政と連携の下、耕作放棄地を活用した「シルバーはい菜農園」を開設し、会員及び一般の高齢者の生きがいづくりの場を提供しています。

これらの独自事業から発進した取り組みは、地域が抱える環境問題を行政や地域住民と共有し、資源循環型社会・循環型農業を目指すとともに、当センターの地域貢献や地域への存在意義を高める事業として展開されています。

### 「エコ・かえるくん事業」について

#### 概要

**1** 行政の「環境分野」における課題解決の一翼を担うとともに、西原町の「資源循環型社会」及び「循環型農業」の構築と、会員の就業拡大・自前収入の確保による持続的に安定した事業の展開を図る。

**2** 西原町学校給食共同調理場から排出される生ごみ回収の委託契約を締結。

**5** 「シルバーはい菜農園」は、耕作放棄地を活用し開設。会員及び地域の高齢者が野菜などの栽培を通して自然に親しみ、交流や情報交換の場を提供。

また、利用面積として10坪から20坪に区画割りし、本年8月現在、一般高齢者16人、会員21人が利用し、季節ごとの野菜を栽培、収穫し、地産地消や耕作放棄地の解消などの地域貢献及び利用者の会員入会促進、更にセンター製造の堆肥・液肥の販売促進を図っています。

**3** 有機発酵液化装置へ生ゴミを投入し「アミノ酸液肥」を精製し製品化。

**4** 西原町内の農協と「代理店取引約定書」を締結し、商品の販売拡大を図るとともに、農家などへの1トン以上の「アミノ酸液肥」を販売。施肥は、センター会員が散布するサービスを提供。



「シルバーはい菜農園」でゴーヤーを収穫する利用者



「アミノ酸液肥」の効果で収穫量が増えたと喜ぶ農家さん

## シルバー人材センター会員紹介

(公社)西原町シルバー人材センター

しまぶくろ まさゆき  
会員 島袋 政幸さん



#### ▶生年月日は?

昭和27年12月10日生まれの64歳。

#### ▶入会日は?

平成26年5月13日

#### ▶入会の動機は?

西原町シルバー人材センターに入会するキッカケは、定年後に県のシルバー人材センター連合の主催する講習会に参加して、色々な方々との出会いや楽しかった思い出もあり、また自分の出来る技術が生かせる所と思い入会しました。

#### ▶趣味は?

走る事(ジョキング)(自分の好きな時間に出来て、体力作りが出来る)

#### ▶主な就業内容について

私の就業は、西原町が推進する「循環型社会の構築」と「自然環境の美化・環境保全」に繋がる独自事業の取り組みとして、学校給食共同調理場から排出される生ごみ(野菜クズや残飯)を、微生物で分解する「生ごみ液化装置」の管理と「アミノ酸液肥」の生産に取り組んでいます。

#### ▶入会して変わった事、良かった事

色々な職種を培った諸先輩がいて毎日色々な事が勉強になり、多くの知り合いも出来て良かったです。

#### ▶就業して、大変な事は

夏場の炎天下の中、畑へ「アミノ酸液肥」の散布と学校給食が無い時期(春休み、夏休み、冬休み)の生ごみの調達に行く事です。

#### ▶家族の反応

毎日が充実して生き生きしているのを見て「楽しそうだね～」と喜んでいます。

#### ▶今後シルバー人材センターに期待する事、やってみたい事

色々な職種の技術を持っている定年した諸先輩方が、もっと活躍出来る場を提供し、1人1人の会員が生き生きと就業できる組織作りを期待します。

また、「アミノ酸液肥」及び「スーパーかえるくん(堆肥)」の製品が、西原町シルバー人材センターが取り組んでいる独自事業(緑のリサイクル事業、エコ・かえるくん事業)の目玉となり、会員の就業拡大と商品の販売拡大に繋がる事を目標として頑張ります。



島袋さん、取材ご協力ありがとうございました。  
今後のご活躍を期待しております!